

障がいがあっても、 社会とつながり、働く幸せを

障がいがある方が、住み慣れた地域で自立して生き生きとした生活を送るためには、個性を生かして就労を継続することが重要です。
特集では、障がいがある方が社会に出て働くための、環境を支える3つの立場の方々を紹介します。

高齢障がい支援課 ☎(45)6289

障がいがあっても、社会とつながり、働く幸せを

生徒の「働きたい」を引き出す。



県立大府もちのき特別支援学校(森岡町)



▲皿の絵付け作業の様子



県内特別支援学校の就職率は20%台にとどまっています。生徒たちの長所を引き出し、企業の皆さんに伝えていくことで1人でも多くの就職を目指します。

校長 神谷真吾さん



県立大府もちのき特別支援学校は、今年度開校した、知的障がいがある児童・生徒を対象とする学校です。ここに通う高等部の生徒たちは、卒業後に就職などさまざまな形で社会に出ていきます。そのための学習として、あいさつをはじめ社会に必要な基礎動作のほか、清掃や部品組み立てなどの実習に一生懸命取り組んでいます。

どのような生徒にもそれぞれ適合する仕事があるはず。その思いから、さまざまな職種の地元の企業に掛け合っ、職場体験などリアリティのある実習の機会提供をいただくことで、企業と生徒たちのマッチングに力を入れています。これらの実習を通して、企業と生徒たちの双方に新たな「気付き」が生まれることに期待しています。

また、就職はほんのスタートに過ぎません。就職後も継続して働くというゴールに到達するためには、自発的な考えがとても大切になります。そのため、生徒たちには、なるべく体験して自分で感じてもらうことが重要だと考えています。どんな仕事か、どんなのか、そのためにどんなことを頑張るのかを感じてほしいと思います。

本校はまだ駆け出しです。企業さんに、生徒たち一人一人の個性を理解して受け入れていただけるよう、私たちは、日々全力を注いでいます。

社会の中で働き、成長する。



スギスマイル(株)(横根町)

「あらゆる人々の幸せを願い、笑顔を増やす」ことを理念に掲げるスギスマイル(株)では、障がい者がそれぞれの個性を生かし、【物流】【清掃・メール仕分】【印刷】【店舗巡回清掃】【駐在店舗業務支援】の五つの業務に取り組み、互いに協力しながら成長していくことを目指しています。

働く現場から

責任を持つて現場を管理できる

各メーカー様から届いた商品店舗ごとに仕分け、出荷しています。

一度にカートで運ぶ荷物は80〜200kgになることもあるので、力のいる仕事です。業務の中では、荷物が集中しているところに手が空いている人をあてがうなど、周りを見るように



物流業務
太田康太さん(20)
入社3年目

しています。そのようにして混雑していた現場をクリアできたときは気持ちが良いです。

そして、普段から体調管理には気を付けています。自分が休むと他の人に迷惑が掛かってしまうので、責任感を持って仕事をしています。

障がいがある人の中には、喜怒哀楽を隠さず顔に出してしまう人もいます。いつもと違う様子の人を見つけたら、気を配ってあげることが必要。このことについては、上司よりも得意かもしれません。

障がいがあっても、社会とつながり、働く幸せを

自分の名前です仕事ができる



印刷業務
松川幸一さん(36)
入社2年目

本部や店舗売り場のポップの印刷、ラミネートなどの加工・出荷、会議資料の印刷をしています。

私は、就労支援事業所で1年間訓練を受けて入社し、昨年5月まで物流業務をしていましたが、上司の方に自分の適正をくんでいただき配置

一緒に楽しく働く仲間がいる

前の職場では病院の掃除、洗濯をしていましたが、同世代の人がいなくて、仕事の悩みを相談することができず、なじめませんでした。



清掃・メール仕分業務
福島幸江さん(24)
入社2年目

スギスマイルは、同世代も多くのいろいろな話ができ、本部の人みんな優しくしてくれるので働きやすい環境だと思います。仕事は、いろいろなところの掃除が好きで、きれいになることがうれしいです。



転換してもらいました。自身の特性として、追い立てられることが苦手です。物流業務では大

変なこともありましたが、今の仕事は計画的に自分のペースでできるようになってきました。

仕事をしていて、本部の方に顔を覚えてもらえ、指名で依頼をもらえたときや、ありがとうと言ってもらえることがうれしいです。

普段から、似たような仕事が来ると分かっていたら、次にやりやすいようにその効率化を提案して改善することに努めています。

これからも、実際に業務を行っていると私たちにはできない『気持ち』を見つけていきたいです。

メール仕分業務についても、『店名』『店番』を全て覚えて早くできるようにしたいです。今年目標は、自立した生活を

送ること

です。料理をする

ことを楽しみに、

仕事もたくさん頑

張りたいです。



働くという意識を大切に



運営部長 鬼頭勲さん(右)
運営I課長 弦巻弘さん(左)

スギホールディングス株の特例子会社である弊社の社員構成は、職場適応援助者8人、指導員23人、障がいがあるスタッフ102人となっています。

スタッフの採用や配置は、障がいの種類や程度を見るのではなく、個々の能力を見て実施しております。対話の中から適性を見出すこともあります。普段から彼らの個性と向き合うことを大切にし、作業の細分化や色分けなど、働く現場の改善にも努めています。

障がい者の就業率向上には、企業だけでなく、彼ら自身を含む社会全体が彼らと向き合い、理解を深めることが不可欠だと考えます。世の中には、それぞれの個性に合う仕事は必ずあるはずで、障がいの有無の前に、全ての人がそれぞれにできることをやる—そのお手伝いをしているよう、努めてまいります。



働きたいという思いがある方には、できることなら一般就労を目指し、安定した収入を得て、夢や希望をかなえてほしいと考えます。

センター長 辻孝志さん

(福)愛光園就職トレーニングセンターは、障がい者が『働くことを学ぶ』場です。プログラムは、就職後も3年半を目途に、月1回の面談や企業訪問を通して、必要な連絡調整やアドバイスの支援を行う『就労定着支援事業』に力を入れるほか、ステップアップ方式でやる気を引き出しながらビジネスマナーを身に付ける学習、気付きを促し、自然にコミュニケーション能力が養われる学習を行っています。

特別支援学校を卒業された方だけでなく、障がいがある方で、仕事を辞めてしまった方や引きこもっていた方などは、ぜひご相談ください。皆さんの、継続的な就労にチャレンジする土壌づくりをお手伝いします。



安心して長く働けるサポートを。

就労移行支援・就労定着支援事業所

(福)愛光園 就職トレーニングセンター(共和町)

就職トレーニングセンターのサポートを受けて 利用者の声



清掃が好きなので、清掃業務の求人に応募して、1月に就職が決まりました。実習のおかげで、就職先で「掃除が丁寧だね」とほめてもらったことがうれしかったです。初任給では、好きな洋服を買いたいです。社会に出たら、人の役に立てるように頑張りたいです。

普段から服装など身だしなみに気を付けるようになりました。また、あいさつや返事などが当たり前に出てくるようになったと思います。

清掃が好きなので、清掃業務の求人に応募して、1月に就職が決まりました。実習のおかげで、就職先で「掃除が丁寧だね」とほめてもらったことがうれしかったです。初任給では、好きな洋服を買いたいです。社会に出たら、人の役に立てるように頑張りたいです。



働き続けるためには休日にもリフレッシュすることが大切だということを学びました。以前働いていたときは、体を休めることしか考えていなかったのですが、最近は意識して外へ出かけるようになりました。今では、空手教室に通うようになり、体を動かすだけでなく、人と関わることで、さまざまな考え方を知ることができました。今後は、接客業などに目を向けて、学んだことを生かしながら就職に向けて頑張りたいです。

障がいがあっても、社会とつながり、働く幸せを



障がい者の就労状況

平成29年現在、民間企業の雇用障がい者数は約49万6000人で、ハローワークでの障がい者の新規求職申込件数は約20万2000件です。この数字は、平成20年に比べ、それぞれ約1.5倍、1.7倍となっており、企業が障がい者雇用に積極的に取り組むとともに、障がい者の就労意欲が高まっていることと表れていると考えられます。

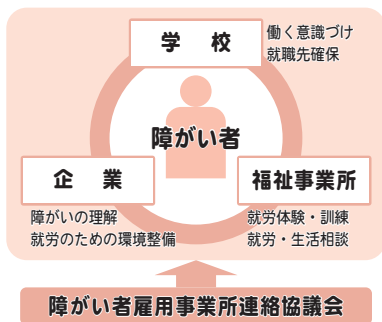
一方で、約20万2000件の新規求職申込に対し、就職者数は約9万7000人とどまっっているのが現状です。

働く場づくりに向けて

この現状を踏まえ、国では障がい者が安心して働くことができるように、障害者雇用促進法で企業に対して障がい者を一定率以上雇用することを義務付けたり、障がい者を雇用する企業に助成金を交付したりといった制度整備を実施しています。

企業、学校、福祉施設などの連携

市では独自に、障がい者雇用事業所連絡協議会を立ち上げ、企業や学校、福祉施設などの連携を支援する仕組みを構築しています。



この協議会は、参加する企業、学校、福祉施設などが、障がい者の雇用についてそれぞれの取り組みや抱える課題について情報を共有し、理解を深め、今後の障がい者の雇用につなげていく場となっています。

就労のための福祉サービス

また、障がい者本人に対しては、職業紹介や就業・生活両面にわたる相談や支援などのサービス体制の充実を図っています。

就労移行支援

就労を希望する方で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる方に対して、職場体験などの活動機会の提供や、求職活動の支援、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練などを支援します。(利用期間原則2年)

就労定着支援

就労移行支援などによって就労した方が、安心して長期間働くことができるように、生活面や仕事面の課題などの相談に乗り、課題解決に向けて企業や自宅に訪問するなどして、必要な支援を行います。(利用期間3年)

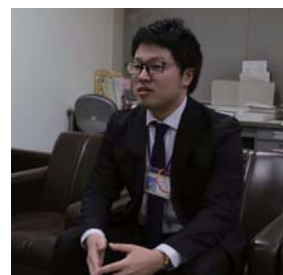
相談窓口

市では、障がいがある方の相談を受け付けています。他の相談機関などと連携し、さまざまな問題解決のための支援方法を検討します。

市障がい者相談支援センター

☎(48)3011

地域包括的なサポートの重要性



高齢障がい支援課
障がい係
神田樹

障がい者が働いて収入を得ることは、経済的な自立はもちろん、やりがいや楽しみを得て、地域や社会に踏み出して社会的な自立をするためにも重要なことです。

彼らが長く働き続けるためには、それぞれの特性に合った仕事を見つけていることが不可欠です。特別支援学校や福祉施設、そして市では、さまざまなアプローチでその支援を行っています。また、受け入れる企業側には、彼らの個性を理解した仕事の配備を行うなど、細やかな対応が求められています。

それから、地域の皆さんが、彼らの存在を理解することも忘れてはなりません。地元地域で就職することが多い彼ら。周囲にその存在を知ってもらうことは、彼らが地域に根差して継続的に働く上で、大きな助けになるのです。